

平成23年度事業報告書

I. はじめに

平成23年は、東日本大震災、電力供給不足、急激な円高等、我が国産業にとってかつてない試練となり、アミューズメント産業を取りまく環境が厳しい現状に鑑み、当協会の事業活動として、政府による中小企業景気対応緊急保証制度の業種指定、アミューズメントマシンショーの抜本的な見直し、アミューズメントマシンの環境問題や省電力対策、あるいは海外展開に向けた取り組み等を行い、業界の発展に寄与した。

II. 平成23年度事業報告

1. アミューズメントマシン産業に関する調査研究事業

(1) 電子マネーシステムの構築に関する調査研究

(ITネットワーク特別委員会・J A I A技術委員会)

交通系や流通系など多種多様な電子マネーが急速に普及し、誰もが手軽に利用しているなかで、アミューズメント業界においても電子マネーの導入は、料金設定の多様化、売上管理の合理化、人件費の削減、消費税の適正転嫁等に、さまざまな効果が期待できる。

このため、アミューズメント業界における電子マネーシステムの導入を推進すべく、ITネットワーク特別委員会(委員長:木村雅三)において、日本アミューズメント産業協会(J A I A)技術委員会と共同で、アミューズメント業界における電子マネーシステム導入の可能性を探るための事業を継続して実施している。

今年度は、2社のシステムについて、実機に基づく説明を受け、消費者の利便性を確保し業界に適した電子マネーの在り方について検討を行った。

(2) 景品提供営業のあり方についての調査研究 (AMプライズ部会)

AMプライズ部会(部会長:佐藤隼夫)では、「適正景品のガイドライン」や「製品安全確保ガイドライン」などの雑誌広告掲載や、業界へのチラシ配布などの周知徹底により、安全で安心できる景品及び景品提供の普及に努めた。

また、JAMMAの活動に今後新たに施設営業の分野が加わることから、「適正景品のガイドライン」に施設営業に対する規定も含んだ「景品及び景品提供営業に関するガイドライン」策定の検討を数次に亘り実施した。

「適正景品マーク制度」の導入に向けた調査研究に関しては、「AMプライズマーク」として導入する方向で検討を重ねた結果、平成24年度の実施を目指し制度を確立することとなった。

このほか、エンドユーザー向けのプロモーション活動としてJAI A主催の「第2回みんなのクレーンゲーム選手権」の開催に協力し、エンドユーザーの裾野拡大に努めた。

(3) AM機のリサイクルシステム構築に関する調査研究 (3R部会)

循環型社会形成への取り組みの取組の一環として業界全体の意識向上を目的とし、3R部会(部長：内田慎一)において、アミューズメント業界における適切なリサイクルシステム構築のための事業を実施している。

23年度は、使用済みアミューズメント機器の適正処理を容易にするための配慮設計について、家電製品協会等の先進他業界の取組事例を参考に、当業界における配慮設計の在り方について検討を行い、まず、第一段階として、平成21年に技術部会がまとめた「業務用アミューズメント機器に関するエコデザインガイドライン」の項目を補完する指針をまとめた。

また、平成23年10月に、産業廃棄物処理の実態を把握するため、千葉県内の産業廃棄物処理施設2施設の視察を実施した。

(4) 展示会のあり方についての調査研究 (AMショー部会)

低調傾向の続くアミューズメントマシショを抜本的に見直すため、AMショー部会(部長：橋正裕)において、平成22年度にまとめた答申に基づき、アミューズメントマシショの活性化を目的として中長期的な観点からショの在り方について検討を行った結果、ショのさらなる規模拡大を図るため、毎年9月に開催しているアミューズメントマシショを、毎年2月に開催される全日本アミューズメント施設営業者協会連合会(AOU)主催のAOUアミューズメントエキスポと一体化し、平成25年2月に両協会の共同主催による新しいショを立ち上げることとした。

(5) 知的財産権確立支援 (調査情報部会-知的財産委員会)

会員の知的財産権が侵害された際、訴追に有利になるよう会員に表記を認めている「JAMMA」商標について韓国及び国内の更新手続きを行った。

また、第49回アミューズメントマシショに出展された会員製品が発明品としての新規性喪失を防ぐため、アミューズメントマシショを特許庁に指定博覧会としての申請を行った。

なお、JAMMAでは会員の知的財産権の確立に資するため、国内特許・意匠等

の登録出願の際に必要な上乗証明、商標の使用証明等、証明書の発行を例年行っているが、23年度は証明書の発行の申請はなかった。

(6) 規制緩和に関する調査研究 (法務財務部会)

アミューズメント業界の現状に対し、必ずしも適正でないとと思われる各種の規制に関する適正化に向けた取り組みを行うため、今後の進め方について理事会において検討を行い「風適法研究特別委員会」の設置を決めた。本件に関しては、(一社)全日本アミューズメント施設営業者協会連合会(AOU)と協調して調査研究を行う方針を決定し、平成24年度に活動を実施する。

(7) AM機の健全化及び啓蒙に関する調査研究 (倫理部会)

倫理部会(部会長：山下 滋)では、AM機の健全性を保ち、消費者に適切な娯楽を提供するため、機械の内容について定めた「健全化を阻害する機械基準」及び「同基準の運用規程」について見直し等の検討を行い、一層の健全化を推進するための活動を行った。

平成23年度は機械基準の改正について検討したものの、運用の見直しにより対応することとなり、改正は見送った。

また、平成23年6月に警察庁生活安全局保安課長が発信した「技能資格証明書等の発行について」文書に関し、業界の対応について検討を行った。

なお、本基準及び同運用規程の啓蒙に関しては、AMショーでの出展品検査への協力などを通して業界内外への機械基準の周知徹底を図った。

(8) AM機への規制の動向調査 (倫理部会)

都道府県の行政による規制の執行状況や不適切な機械、営業に関して情報交換を行った。

2. アミューズメントマシン業界に関する技術開発・標準化事業

(1) 内外の技術基準等検討作業への協力 (技術部会)

技術部会(部会長：小島理一)において、国の依頼を受けて内外の技術基準等の検討作業を行う(社)日本電気協会の電気用品調査委員会、電気用品部品・材料認証協議会、電気用品の安全に関する技術基準等に係る委員会への委員派遣及び検討作業への協力を行った。

(2) アミューズメントマシンの機能性向上に関する取り組み (技術部会)

東日本大震災の影響により、夏の電力需給不足が懸念されたため、技術部会(部長：小島理一)において、次の事業を実施した。

①会員企業に対し、自社のAM機、事業所、店舗施設のそれぞれにおける省電力対策についてアンケート調査を実施し、アミューズメント業界が行っている省電力対策を取りまとめた。

②会員企業に依頼して、省電力対策が可能な自社製品の事例(待機モードを省エネモードに切り替える。AM機の照明を一部落とす等)の調査を行い、寄せられた情報を取りまとめ、店舗における省電力対策に役立てて頂くため、平成23年6月24日付JAMMA23第6号を以て、(社)全日本アミューズメント施設営業者協会連合会飯澤幸雄会長宛に、AOUを通じて施設営業者各位に通知頂くよう依頼した。

3. アミューズメントマシン産業に関する情報の収集・提供及び展示会・講習会・研究会等の事業

(1) 業界プロモーション事業 (調査情報部会-広報委員会)

アミューズメントマシンが提供する余暇活動の楽しさや、健全性、文化性を周知させることを目的として一般消費者に向け協会ホームページを活用して各種の情報の提供を行った。

広報委員会(委員長：上田浩士)では、平成23年度にこれまで協会ホームページで十分に提供できていなかった「業界の歴史」および「統計資料」のコンテンツの制作を行い、業界トピックをSNS向けに提供することで、各種メディアでの業界情報の発信を目指し、最終的には一般消費者に対し、アミューズメント産業への理解の促進を図る活動を行った。

(2) アミューズメント産業に関する各種情報の収集及び提供 (調査情報部会)

①協会入手資料の提供

協会が行政機関等から入手した資料のうち、会員企業の事業活動に役立つと思われるものについて郵送またはeメールにより会員に配布した。本年度配布した主な資料は次の通り。

- 今夏の電力需給見通しと当面の対応について (経済産業省)
- 北朝鮮に対する輸出入禁止措置等の継続について (経済産業省)
- 放射能汚染に関する検査、証明について (経済産業省)
- 中小企業向け施策広報について (経済産業省)
- 省エネに向けた協力のお願い (経済産業省)
- 「中小企業向け緊急保証制度」の業種指定について (経済産業省)

- 「中小企業向け緊急保証制度」の業種指定拡大について (経済産業省)
- 平成23年度「自殺対策強化月間」における取組みについて (経済産業省)
- メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談促進事業の実施について
(労働者健康福祉機構)

- 下請け駆け込み寺事業のリーフレット (経済産業省)
- 中小企業を応援します！リーフレット (中小企業庁)
- 雇用調整助成金の要件緩和について (経済産業省)
- 消費生活用製品等による事故等に関する情報提供の要請について (経済産業省)
- 下請取引の適正化並びに下請事業者への配慮等について (経済産業省)
- 「消費生活用品のリコールハンドブック」 (経済産業省)
- 平成23年度「青少年の非行問題に取り組み全国強調月間」について (総務省)
- 「下請適正取引等の推進のためのガイドライン」について (経済産業省)
- 平成23年度経済産業政策の重点 (経済産業省)
- 平成22年度「ミューズ」外産業界の実態調査報告書 (JAIIA)
- 中小企業補助事業「ビジネス・マッチング・ステーション」の案内 (経済産業省)
- セーフティネット補償制度について (経済産業省)
- メンタルヘルス対策の具体的推進について (厚生労働省)
- セーフティネット保証5号に基づく特定業種の指定について (経済産業省)
- 現時点における電力各社の追加供給対策後の見通し (経済産業省)
- 東日本大震災一周年追悼式の当日における弔意表明等について (経済産業省)
- 一般社団化並びに団体の統合に伴う協会名称変更のお知らせ (JAMMA)
- エルピーダ等の会社更生手続開始の申立てに係る中小企業対策について (経済産業省)
- 中小企業支援策 (海外展開・生産設備更新) チラシの送付について (中小企業庁)
- 今冬の節電対応について (経済産業省)
- 「国立科学博物館『産業技術資料調査』への協力お願い (文化庁)
- 電気用品の使用プラグに関する調査について (経済産業省)
- 電気使用制限の緩和等について (経済産業省)
- 電気用品の技術上の基準を定める省令第2項の規定に基づく基準の改正について (経済産業省)
- 模倣品・海賊版対策の総合窓口に関する年次報告 (2011年版) の公表について (経済産業省)
- 第124回中小企業景況調査 (2011年4-6月期) について (中小企業庁)
- 緊急時避難準備区域等での生活上の留意点について (経済産業省)
- 節電サポート事業」及び「家庭の節電宣言」に関する協力をお願い (経済産業省)
- 東日本大震災に関連する独占禁止法及び下請法のQ&A (経済産業省)
- 電気事業法第27条による電気の使用制限の発動について (経済産業省)
- 福島県第1原子力発電所事故に伴う風評被害の防止について (経済産業省)
- 最近の動向を踏まえた情報セキュリティ対策の提示と徹底について (経済産業省)
- 夏期の節電に取り組み労使を対象とするパンフレットのご案内 (経済産業省)
- 電気事業法第27条に基づく電気使用制限に関する制度説明会開催案内 (経済産業省)
- 夏期の電力需給見通し等に関する説明会開催案内 (経済産業省)
- 電力需給緊急対策本部資料 (経済産業省)
- 主要国における放射能検査等の輸入規則と政府の対応に関する説明会開催案内 (経済産業省)
- 第7回中国国際アニメ・漫画・ゲーム博覧会 (上海) の開催について (JAMMA)
- 「東日本大震災後の産業実態緊急調査」の結果公表について (経済産業省)
- 「サナライチチェーンへの影響調査」の結果公表について (経済産業省)
- 放射線風評被害の防止について (経済産業省)
- 改訂倫理運用規程の送付 (JAMMA)
- 東京電力・東北電力からの発表について (経済産業省)
- 「企業等から地方自治体等への寄付の方法」周知広報について (経済産業省)
- 東日本大震災に伴う雇用調整助成金の特例の拡充について (経済産業省)
- 夏期の電力需給対策に関する事前調査並びに規制緩和について (経済産業省)

- 現時点における電力各社の追加供給対策後の見通し (経済産業省)
- 2011年版「各国・地域の貿易投資上の問題点と要望」報告書について (貿易・投資円滑化ビジネス協議会)
- 海外市場開発のためのセミナー・説明会等の開催案内 (JETRO)
- 各国地域における知的財産権確立および保護のためのセミナー・説明会等の開催案内 (経済産業省・特許庁・JETRO)
- 海外市場開発のための諸情報の提供 (JETRO)

②中小企業セーフティネット5号保証制度の業種指定 (調査情報部会)

東日本大震災による影響や日本経済の低迷に伴い、業界を取りまく金融環境が非常に厳しくなっていることから、昨年度に引き続き、経済産業省の「中小企業セーフティネット5号保証制度」の業種指定を継続するため、会員へのアンケート調査を行ったうえで申請を行った。

業種指定は半期ごとに更新されることから、平成23年度は2回の調査を行い、その結果、本保証制度の指定業種としてメーカー及びディスプレイの2業種が認定された。

③産業技術史資料アーカイブ事業への協力 (調査情報部会-広報委員会)

独立行政法人 国立科学博物館が実施する産業技術史資料アーカイブ事業に協力し、先駆的なアミューズメントマシンや技術の収集、及び台帳への登録に協力した。AM業界に対して初めて行われた収集登録において、6社から71件の製品・技術が登録された。

④製品事故に関する情報の収集および提供 (調査情報部会-広報委員会)

残念ながら発生してしまった製品事故に関する情報や業界で転用される可能性のあるパチンコ機の事故情報を取りまとめ、関連行政機関ならびに会員に提供した。

(3) JAMMAジャーナル及びホームページによる情報発信

(調査情報部会-広報委員会)

アミューズメントマシン業界の現状や動向を業界内外に伝えるため、主にホームページにより情報を発信した。

ホームページの主なコンテンツは次の通り。

- ①協会概要 (情報公開資料を含む)
- ②JAMMAジャーナル (業界及び協会内の行事、出来事の紹介)
- ③会員名簿 (業界外からの会員検索の利便性向上を念頭に置いたレイアウトを採用)
- ④JAMMA資料集 (消費者に安心安全な機械を提供するためのJAMMAが

定める機械基準やガイドライン等の紹介)

⑤会員及び関係団体リンク集

なお、「JAMMAジャーナル」は平成23年4月、5月、7月、10月、平成24年1月、3月、の計6回更新した。 (URL=<http://www.jamma.or.jp>)

(4) アミューズメントマシンショーの開催 (AMショー部会)

平成23年9月15日～17日の3日間、幕張メッセにおいて、全日本遊園施設協会との共同主催により第49回アミューズメントマシンショーを開催した。

第49回は、平成22年度にAMショー部会がまとめた答申を受け、ここ数年低調傾向の続いたアミューズメントマシンショーの活性化を目指して初の試みとなる東京ゲームショウ(社)コンピュータエンタテインメント協会(CESA)主催との同日開催を実施、また、これまでなかった主催者ブースでのさまざまな催し物の実施等も功を奏し、一般公開日来場者数が対前年比31%増(14,700名)となる等の成果を得て、盛大に開催することができた。

また、会期初日には、幕張メッセ会場に隣接したホテルニューオータニ幕張において「AMショー懇親パーティー」を開催し約300名が参加した。

(5) 関連法令、協会自主基準等に関する講習会の実施 (調査情報部会)

アミューズメントマシンショー開催時に、下記の3つのテーマによるセミナーを開催し、いずれも好評を得た。

①震災以後のマーケットの変化に対応した現場での業績アップ手法

講師：株式会社船井総合研究所 アミューズメント・レジャービジネスチーム
上席コンサルタント 宇都宮 勉 氏

②小さな努力が大きな利益に！店舗での節電・省エネ対策

講師：財団法人省エネルギーセンター国民活動総括部省エネ人材育成グループ
部長 大関彰一郎 氏

③アミューズメント施設の「電気」のおはなし

講師：株式会社タイマー TECH チーム営業企画課 水信 昭治 氏

(6) 海外市場の拡大に向けた調査研究事業 (国際部会)

世界をリードする当業界のコンテントを擁して、より積極的に海外市場の拡大を図るため、国際部会(部会長：神宮司憲人)では会員の海外展開支援に向けた取り組みを次の通り実施した。

①アジア各国におけるAM市場の拡大に向け海外の業界誌等の情報網を活用し、各国の規制や潜在的な市場に対する調査研究を行うとともに、得られた情報をデータベース化する「アジア・アミューズメント市場マップ」の作成に向けた

取り組みを行った。

平成23年度は、中東やインドなどの新興アミューズメント市場に関する情報を入手した。

②海外におけるリデンプション営業に関する実態調査を行い、各国リデンプション営業の状況をまとめた「海外リデンプション営業の実態調査中間報告書」を取りまとめた。

③市場が急速に拡大している中国の市場について情報を収集するため、平成23年8月25日から27日に開催された広州GTIショーを參觀し、あわせて中国メーカー工場やショールーム街、広州市内ロケーションの視察を行い「視察報告書」を取りまとめた。

④JETROが中小企業の海外進出を支援するため実施している展示会出展支援事業の適用を受けるため、日本企業が出展するにふさわしい展示会の洗い出しを行い、最も出展効果の高い展示会として「広州GTIショー」を選択し、当該展示会への出展支援を要請した。

⑤経済産業省やJETRO等から新興国をはじめとする海外市場動向に関する諸情報入手し、会員への情報提供を行った。

4. アミューズメントマシン産業に関する内外関係機関との交流事業

(1) 国内関係団体との交流 (法務・財務部会)

① (財) デジタルコンテンツ協会の諸事業活動において評議員として運営に協力した。

②映像管理委員会の呼びかけに応じた映像関連6団体による「映像倫理連絡会」に参加した。

③ (社) 日本電気協会の電気用品調査委員会及び電気用品部品・材料認証協議会に委員を派遣し、課題については、技術部会 (部会長：小島理一) で検討し答申し、国の基準改正作業に協力した。

④電気製品認証協議会の幹事会・広報専門部会の諸事業活動において委員として運営に協力した。

⑤JAMMA、JAIA、AOU、NSA、JAPAEAの五団体が共同で、平成23年1月18日、グラントプリンスホテル赤坂において賀詞交歓会を開催、会員並びに業界関係者約300名の出席を得て盛大に開催された。

⑥文化庁メディア芸術コンテンツアおよびデジタルアーカイブ構築事業「ゲーム分野会議」に参画し、業務用アミューズメントマシンのアーカイブ化の必要性を訴えた。

(2) 海外の業界団体との交流 (国際部会)

- ①米国 (AAMA、AMOA、IAAPPA)、英国 (BACTA) の他、韓国、香港及び台湾のアミューズメント業界団体との親善交流に向け、定期的な情報交換を行なうための具体案について検討した。
- ②平成23年7月に中国文化部が主催して上海で開催された「第7回中国国際アニメ・ゲーム博覧会 (Fantasy China 2011)」を後援し、中国における市場開拓に協力した。
- ③平成23年7月に来日した中国広東省及び広州市が催行する訪日代表团に対し、広州市長が出席する説明会に里見会長が参加したほか、広州市及びバンブー区人民政府使節団の表敬訪問を受けた。
- ④平成23年8月に開催された広州GTIショーに里見会長が訪問し、中国広東省広州市及びバンブー区人民政府要人との会談を行ったほか、広州市内の主要AM機器製造メーカー幹部との懇談を行った。
- ⑤平成24年3月に来日した中国広州番禺アニメ・ゲーム協会 (GAGA) の訪日代表団の表敬訪問を受け、GAGA郭会長等との業界会談を行った。

5. アミューズメントマシン (AM) に関する登録事業

(1) AM機械の表示マーク制度

(倫理部会-倫理審査委員会、倫理審査判定委員会)

倫理部会 (部会長：山下 滋) は、AM機械の健全性を確認し、アピールするための表示マーク制度を「健全化を阻害する機械基準」に基づいて実施した。この中で、7号営業で使用された遊技機を8号メダルゲーム機に転用する際の規定が適切に運用されているかを確認するための機械実査を前年に引き続き実施した。

本基準に基づく平成23年度のメダルゲーム機の登録件数は131件で、表示マーク発行枚数は16,169枚であった。

一方、7号転用メダルゲーム機の登録件数は1,709件、表示マーク発行枚数は13,277枚であった。

登録件数の合計が1,840件 (前年度1,632件)、表示マークの発行枚数は29,446枚 (前年度34,003枚) となった。

6. その他事業

(1) 一般社団法人への移行並びに団体統合

「一般社団法人及び一般財団法人に基づき法律」に基づき、9月に内閣府へ一般社団法人への移行認可申請を行ったところ、12月16日付けで認可の答申があり、平成24年4月1日付で登記が完了し、当協会は一般社団法人へ移行した。

また、かねてより統合準備を進めていた日本SC遊園協会 (NSA) 及び全日本遊園施設協会 (JAPEA) との統合を同じく平成24年4月1日付けで行い、これをもって新たに団体名を「一般社団法人 日本アミューズメントマシン協会 (JAMMA: Japan Amusement Machine and Marketing Association, Inc.)」として活動を開始した。

7. 日本アミューズメント産業協会 (JAAA) に係わる事業

(1) 「アミューズメントマシンに親しむゲームの日」のイベント開催

アミューズメント産業の文化性、先進性、健全性を広く一般社会にアピールを図るため、11月23日を「アミューズメントマシンに親しむゲームの日」と定め、この「ゲームの日」の前後に業界のPR、エンブローザーへのアンケート、全国各地でのチャリティーイベントの実施等の活動を行った。

(2) アミューズメント業界の市場実態調査

アミューズメント産業界の実態について調査を行い、機械製造、流通販売、施設営業、ソフトの供給等の市場の実態を把握するとともに、アミューズメント産業、レジャー産業の調査研究を行った。平成23年度はその結果をまとめ「平成22年度アミューズメント産業界の実態調査報告書」を発行した。

(3) 新春賀詞交歓会

JAAAが中心となり、関係業界団体が共同で平成24年1月19日、東京ドームホテルにおいてアミューズメント産業新春賀詞交歓会を開催し、業界関係者約300名の出席があった。

8. 協会の事業及び経理監査

協会の事業及び経理について下記の通り2回に亘り監査が行われ、いずれも監査の結果、適正妥当であることが認められた。

第1回 実施日時：平成23年4月15日(金) 13:30~17:00

実施場所：JAMMA会議室

出席監事：奥村保監事、臼井清監事

監査内容：①平成22年度収支決算

②第48回AMシヨ一特別会計収支決算

③貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録

第2回 実施日時：平成23年11月28日(月) 14:00~17:00

実施場所：JAMMA会議室

出席監事：奥村保監事、臼井清監事

監査内容：①平成23年度収支決算中間監査

(4月1日~10月31日)

9. 庶務的事項

(1) 通常総会

開催日時 平成23年5月24日(火) 16:00~17:00

開催場所 ホテルオークラ東京「メイナルルーム11」

議題

第1号議案 定款第12条2項に基づく理事の選任に関する承認の件

第2号議案 一般社団法人への移行及びJNSA・JAPEAとの統合に関する承認の件

第3号議案 平成22年度事業報告、決算報告、監査報告及び

収支差額処分案承認の件

第4号議案 平成23年度事業計画並びに収支予算案承認の件

(2) 理事会

第120回理事会

開催日時 平成23年4月21日(火) 15:00~16:30

開催場所 JAMMA大会議室

議題

第1号議案 理事の選任に関する件

第2号議案 会員資格の継承に関する件

第3号議案 平成22年度事業報告、決算報告、監査報告及び

収支差額処分案に関する件

第4号議案 平成23年度事業計画及び収支予算案に関する件

- 第5号議案 一般社団法人への移行に関する件
- 第6号議案 部会・委員会の担当選任に関する件
- 第7号議案 その他

報告事項

- 第23回通常総会に関する件
 - ① 東日本大震災について
 - ② 電力需給対策について
 - ③ 業界の大震災支援策について
- 2. 年間スケジュール

第121回理事会

開催日時 平成23年5月24日(水) 15:30～15:55
 開催場所 ホテルオークラ「マイザルルームII」

議題

- 第1号議案 第23回通常総会に関する件
- 第2号議案 一般社団法人及び団体統合に関する件
- 第3号議案 臨時総会の開催に関する件
- 第4号議案 来年のAMショー開催に関する件

第122回理事会

開催日時 平成23年7月14日(木) 15:00～16:00
 開催場所 JAMMA大会議室

議題

- 第1号議案 賛助会員の正会員への移行に関する件
- 第2号議案 一般社団法人への移行認可申請に伴う「定款の変更案」及び「諸規程の変更案」に関する承認の件
- 第3号議案 一般社団法人への移行認可申請に伴う「公益目的支出計画案」に関する承認の件
- 第4号議案 その他
 - (1) 第49回アミューズメントアワードショー
 - (2) 技術部会

第123回理事会

開催日時 平成23年12月15日(木) 16:30～17:00
 開催場所 JAMMA大会議室

議題

- 第1号議案 理事の選任に関する件
- 第2号議案 24年度重点事業計画に関する件
- 第3号議案 一般社団法人への移行、及び3団体統合に関する件
- 報告事項
 - 1. 各部会の活動報告
 - (1) 国際部会
 - (2) 3R部会
 - 2. 賀詞交歓会
 - 3. 年間スケジュール
 - 4. その他

第124回理事会

開催日時 平成24年3月29日(木) 15:00~17:00

開催場所 JAMMA大会議室

議題

- 第1号議案
- 第2号議案
- 第3号議案
- 第4号議案
- 第5号議案
- 第6号議案
- 報告事項

- 1. AOUとの共催による展示会開催に関する件
- 2. 平成24年度の事業計画(案)に関する件
- 3. 平成24年度の収支予算(案)に関する件
- 4. 特定資産の取り崩しに関する件
- 5. 一般社団法人への移行及び3団体統合に関する件
- 6. 3団体統合に伴う諸規定の改正に関する件
- 7. GAGA主催の中国でのAM展示会開催について
- 8. 中小企業の資金繰り支援策について
- 9. 今夏の電力需給見通しと当面の対応について
- 10. 年間スケジュールについて

(3) 部会・委員会

今年度の部会委員会の開催状況は次の通り。

法務財務部会 (部長：里見 治)

【附置機関】

予算委員会 (委員長：橋 正裕)

- 1. 第15回 平成24年 3月6日

ITネットワーク特別委員会 (委員長：木村雅三)

JAI A技術委員会との合同会議

- 1. 第20回 平成23年10月21日
- 2. 第21回 平成24年 1月30日

調査情報部会 (部長：阪口一芳)

【附置機関】

広報委員会 (委員長：蓮倉 真、上田浩士)

- 1. 第52回 平成23年 4月14日
- 2. 第53回 平成23年 8月30日
- 3. 第54回 平成23年10月11日
- 4. 第55回 平成24年 3月 2日

倫理部会 (部長：橋 正裕、山下 滋)

- 1. 第32回 平成23年 7月 5日
- 2. 第33回 平成23年12月22日
- 3. 第34回 平成24年 3月19日

【附置機関】

倫理審査委員会 (委員長：加々見章)

- 1. 第33回 平成23年 4月 6日
- 2. 第34回 平成23年 4月18日

3. 第335回 平成23年 4月18日
4. 第336回 平成23年 4月27日
5. 第337回 平成23年 6月17日
6. 第338回 平成23年 7月 4日
7. 第339回 平成23年 8月23日
8. 第340回 平成23年 8月29日
9. 第341回 平成23年 9月23日
10. 第342回 平成23年10月17日
11. 第343回 平成23年10月25日
12. 第344回 平成23年10月25日
13. 第345回 平成23年10月28日
14. 第346回 平成23年11月18日
15. 第347回 平成23年12月20日
16. 第348回 平成24年 1月25日
17. 第349回 平成24年 1月27日
18. 第350回 平成24年 2月10日

技術部会 (部会長：小島理一)

1. 第31回 平成23年 4月14日
1. 第32回 平成23年 5月18日
1. 第33回 平成23年 6月 9日

AMショー部会 (部会長：橋 正裕)

1. 第10回 平成23年10月14日
2. 第11回 平成24年 1月19日

AMショー運営委員会 (委員長：山下 滋)

1. 正副委員長会議 平成24年2月23日

AMドライブ部会 (部会長：佐藤隼夫)

1. 第22回 平成23年12月19日
2. 第23回 平成24年 3月30日

国際部会 (部会長：神宮司憲人)

1. 第8回 平成23年 6月14日
2. 第9回 平成23年10月21日

【関連行事】

第7回中国国際アニメ・ゲーム博覧会 (中国上海) 後援

平成23年 7月12日～16日

広州GT1ショー (中国広州) 視察

平成23年 8月24日～27日

3R部会 (部会長：内田慎一／小野良文)

1. 第12回 平成23年 9月27日

2. 産業廃棄物処理工場視察 (千葉県千葉市／同印旛郡)
3. 第13回 平成23年11月 1日
4. 第14回 平成24年 2月28日

JAMMAーAOU共同展示会協議会 (会長：里見 治)

1. 第1回 平成23年 3月21日

第49回アミューズメントマシンショー委員会 (委員長：里見治)

1. 第1回 平成23年 2月22日
2. 第2回 平成23年12月15日

【附置機関】

ショー運営委員会 (委員長：橋 正裕)

1. 第1回 平成23年 3月 1日
2. 第2回 平成23年 3月24日
3. 第3回 平成23年 5月12日
4. 第4回 平成23年 6月14日
5. 第5回 平成23年 6月29日
6. 第6回 平成23年 7月21日
7. 第7回 平成23年 8月19日
8. 第8回 平成23年 9月14日
9. 第9回 平成23年10月14日

【附置機関】

説明会・小間位置決定会

1. 第1回 平成23年 6月29日

出展品書類審査会

1. 第1回 平成23年 9月 5日

出展品および小間施工会場検査会

1. 第1回 平成23年 9月14日

広報委員会 (委員長：蓮倉 真、上田浩士)

1. 第1回 平成23年 4月14日
2. 第2回 平成23年 8月30日
3. 第3回 平成23年 9月14日
4. 第4回 平成23年10月11日

一般社団化本委員会 (委員長：里見 治)

1. 第1回 平成23年 9月15日

【附置機関】

一般社団化実行委員会 (委員長：橋 正裕)

1. 第3回 平成23年 5月20日
2. 第4回 平成23年 9月 6日

機構組織・財務基盤検討ワーキンググループ (座長：小野良文)

1. 第6回 平成23年 2月13日

JAMMA・NSA・JAPPEA統合準備会議 (座長：上山辰美)

1. 第1回 平成23年 7月29日
2. 第2回 平成23年 9月26日
3. 第3回 平成23年11月7日
4. 第4回 平成23年12月20日
5. 第5回 平成24年 1月27日
6. 第6回 平成24年 2月29日

(4) 会員の異動

	期首会員数	入会数	退会数	期末会員数
正会員	56	1	3	54
賛助会員	19	0	1	18

入会会員名

正会員

1. 株式会社 オーシャンエンタープライズ (賛助会員から転籍)

退会会員名

正会員

1. 株式会社 エーピーシー
2. 株式会社 AQインタラクティブ
3. 株式会社 ラッキー

賛助会員

1. 株式会社 オーシャンエンタープライズ (正会員へ転籍)